

労働環境を改善し、佐賀市を元気に



野中 康弘 (社会市民クラブ)

人口減少社会における労働力確保と佐賀市を明るく元気にするために労働環境の改善は必要①県内企業の労働時間と賃金の実態は②労働基準監督署の指導・勧告の実態は③市の労働相談事業の相談内容と件数は。

答弁 ①平成28年における全国の平均月間総労働時間は約144時間。県は約154時間で全国より長く、平均月間現金給与総額は全国が約31万5,600円、県が約27万7,400円で全国より低い②平成28年度指導・勧告の件数は全国が約9万件、県が約1,000件。主な内容は労働時間、健康診断の実施、労働災害防止で、全国と県では同じ状況である③平成28年度件数は23件。そのうち7割が労働者からの相談で、内容は賃金、社会保障、労働時間、有給休暇などに関するものである。
◆その他◆佐賀空港へのオスプレイ配備について



待機児童の解消は待ったなし！



松永 憲明 (社会市民クラブ)

①待機児童の95%が0〜2歳児だが、今後の定員増対策は②保育士不足への取り組みは③保育士の処遇改善の状況は④保育の質と安全性の確保の取り組みは。

答弁 ①既存園の低年齢児定員の拡大と地域型保育施設の開設②平成23年度から保育士チャレンジ研修会を継続実施、今年度は情報誌を活用しイメージアップを図った③平成24年度比約10%の改善。さらに今年度は技能、職責に応じた改善があった④研修会、講演会の受講内容を園全体で共有したり、園独自の研修会で資質向上を図る。昼寝の窒息事故防止や食物アレルギー園児への対応など子どもの安全を第一に取り組んでいる。市では保育従事者研修会を開催、担当課内には相談員を配置している。
◆その他◆全国学力・学習状況調査について／教職員の働き方改革について

街なかの回遊性の向上を!!



宮崎 健 (自民市政会)

バルーン大会期間中においては、バルーンミュージアムに多くの人が訪れているが、周辺の商店街や街なかへの回遊性につながっていないと思われる。何か有効な施策は考えていないのか。

答弁 バルーンミュージアムから周辺の施設等への回遊性は若干低いという状況である。街なかへの回遊性向上には、ミュージアムへの来場者の増加が一つの手だてであると考えている。イベントや企画展を実施し、市民や観光客など幅広い方々に利用していただけるよう取り組んでいきたい。また、ミュージアムを含む周辺エリアの魅力などの観光情報の発信やまち歩きの仕事づくりなどを地域の商店や施設の方々と連携して取り組んでいけるよう努めていきたいと考えている。
◆その他◆市歌の制定について／市営バス事業について／第9回佐賀駅バスセンターまつりについて

空き家の解体と跡地活用に向けて



野中 宣明 (公明党)

①老朽化した空き家は速やかに解体し、更地にすることが重要である。そのためには固定資産税の減免措置が有効であると思うが、市の考えは②解体後の跡地活用は業界団体との連携が必要。民間との協働体制を構築すべきであるがどうか。

答弁 ①市が危険な状態と認定し、法に基づく文書指導を行った空き家を所有者が速やかに解体した場合に限り、空き家解体に伴って上昇した固定資産税分を一定期間補助できないか、現在、空家等対策協議会で検討している②跡地活用の促進には民間事業者との連携等が不可欠で、国からも宅建業者等との連携が重要との基本指針が示されている。今後、所有者の同意や活用策、情報の外部提供等について協議が必要であると考えており、これらを踏まえ、業界団体との連携体制の構築等を検討していく。
◆その他◆バイオマス産業都市構想について

12月12日(火)

富士大和温泉病院に

ヘリポートを！



平原 嘉徳（自民市政会）

九州北部豪雨では多くの緊急輸送道路が土砂災害で寸断された。佐賀市北部でも過去に豪雨災害により国道が寸断され住民生活に支障をきたした経験がある。災害時緊急患者の搬送を考え、富士大和温泉病院にヘリポートを設置すべきだ。

答弁 災害発生により市中心部への交通経路が寸断された場合などを想定すると、医療を継続するために患者を移送するための手段として消防防災ヘリコプターの活用は大変有意義であると考えている。また、災害時の被災者の受け入れにも大いに役立つものと思われる。このため、消防防災ヘリコプターに関する仕様やヘリポートの設置基準等が明らかになったところで、富士大和温泉病院における消防防災ヘリコプター離着着スペースの確保について検討していきたい。

◆その他◆「第78回国民体育大会・全国障害者スポーツ大会」を見据えた取り組み／子ども・子育て支援新制度における保育行政

キッズコーナー

しぎかい
よくわかる市議会



議員は、議会がないときは何をしているの？



それでは、議会が開催されていないときの市議会議員の仕事について説明します！

- ・市の事業や制度について、資料で調べたり、市役所の担当者の説明を聞いたりして勉強します。
- ・佐賀市より進んだ事業や制度などについて他都市を視察して調べたり、佐賀市に取り入れるための研究をします。
- ・地域の活動や会議に出席して、地域の問題や要望などを聴き取ります。
- ・福祉・環境やまちづくりなどの問題について国などに要望します。
- ・議会報告会を開いたり、議会だよりを作成・発行して議会の活動を知らせます。
- ・フェイスブックやブログなどで日々の活動を知らせます。

佐賀市議会 2月定例会のお知らせ

2月27日（火）午前10時開会（予定）

- ※日程等については、定例会開会日に正式決定し、ホームページ等でお知らせします。
- ※市内外を問わずどなたでも傍聴することができます。（車椅子のスペース、補聴器も準備しています。）
- ※委員会の傍聴もできますので、ぜひおいでください。

議員と語ろう！ 議会報告会

皆さまからいただいたご意見やご質問に対して、執行部(市)から回答がありました。

平成29年5月20日から6月10日にかけて「議員と語ろう！ 議会報告会」を市内9会場で開催しました。

会場で皆さまからいただいたご意見やご質問について、市から平成29年11月2日付で回答がありました。

市からの回答の内容については、議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

※佐賀市議会ホームページの「トップページ」⇒「議会を知りたい」⇒「佐賀市議会報告会」



写真を募集します!!



～「議会だより」の表紙や記事、ホームページ等に掲載します。
多数のご応募をお待ちしています！～

- 応募資格
- 募集締切
- テーマ
- 応募方法
- その他

市内在住、在勤又は在学の方

平成30年3月30日金必着

笑顔(次号の発行は5月1日頃となります。)

議会事務局へ郵送又はメール(gikai@city.saga.lg.jp)で送付ください。

- 応募の際には、住所、氏名、電話番号、撮影場所、写真タイトルをご記入ください。
- 写真は、原則として返却しません。
- 必ず掲載されるものではありません。
- 掲載の際は、氏名、住所(町、村、丁目まで)を掲載します。
- 掲載料の支払いはありません。



佐賀市議会Facebook

い。で、えし、議、政、分、易、組、み、の、見、え、る、化、わ、か、る、化、に、取、り、組、み、こ、れ、か、ら、も、と、と、政、治、を、分、か、り、易、く、議、会、を、身、近、に、お、ん、え、し、て、い、き、ま、す、の、お、ん、ん、(、御、厨、洋、行、)

「佐賀市議会だより」と「佐賀市議会フェイスブック」の両輪で「議会の見える化・わかる化」に取り組み、これからもっと政治を分かり易く、議会を身近におんえし、ていきます。い。で、ご期待ください。(御厨洋行)

編集後記

あけましておめでとうございます。お正月が過ぎました。佐賀市議会議員も成人式や消防団出初め式への出席、また各町区の行事で皆さんとお会いすることができました。改めて今年も一年よろしくお願ひ申し上げます。さて第57号となる今回、平成30年最初の「佐賀市議会だより」であると同時に改選後の新たな議会広報広聴委員会での最初の編集となりました。当初委員会は11名で組織されており、うち5名は新人議員です。新人ならではの既存の概念にとられない自由な発想を取り入れ、また経験ある議員の知恵を活かし、より一層「わかりやすい」「親しみやすい」紙面を作成していきます。具体的には写真やイラストを多く掲載したり、子ども向けのコーナーの設置など、より多くの皆さんに喜んでいただける紙面づくりを目指します。また議会広報広聴委員会では紙面以外にフェイスブックの運営も担当しております。こちらにも「もっと身近に議会を知る」ツールとして有効活用していかねければなりません。議会の動向や議員の活動をネットならではのリアルタイムでお届けしていきます。